

## 2013 国際教養科 NEWS 8月

### ALTの先生方24名に善光寺を英語でガイド

長野県国際課から本校に要請があり、8/14（水）に、本校国際教養科1年生（37名参加）が長野県で新規採用されたALT（外国語指導助手）の先生方24人と一緒に善光寺を訪れ、英語で境内を案内しました。

本校は善光寺のすぐ近くにあり、多くの生徒が、毎日登下校で境内を歩いて通っていますが、意外に善光寺については知らないことがとても多く、ましてや善光寺について英語で外国人に説明するのはとても難しいことだと思います。



7/24 善光寺本堂前でガイド研修

そしてガイド当日を迎えました。当日は6人ほどのグループに分かれて、それぞれのグループごとに県庁を出発して善光寺を目指し、境内を散策後、県庁に戻るという行程でした。初めてですから、うまくいかなかった面はあったと思いますが、ALTの先生方も、笑顔で優しく生徒と接していただき、生徒たちはジェスチャーを交えて、悪戦苦闘しながらも、善光寺境内を英語で一生懸命案内し、お互いに楽しそうに英語を話したり、一緒に写真を撮ったりして、とても意義のある時間を過ごすことができました。

そこで、7/24（水）に長野通訳ガイドネットの平沢さんと増尾さんに講師をお願いし、ガイド研修を実施しました。お陰様で、善光寺についていろいろな知識を得ることができ、また、外国人が興味を持ちそうな点を教えていただき、ポイントを絞って説明することと、案内するときの視線や表情の大切さなどを学ぶことができました。



7/24 六地藏の前でガイド研修



〔8/14（水）当日 国際教養科1年生徒の感想〕

・善光寺の見学では自分の分担した大香炉と石畳と手水舎の所は比較的うまくいきました。特に手水舎では、スムーズに説明ができました。喜んでもらえてうれしかったです。今回の反省をふまえて、9月のブリティッシュヒルズ英語合宿(福島)に向けて立てた目標は、①英語に慣れる ②自分から英語を作れるようにする ③語彙のレパートリーを増やすです。



・善光寺へ行くまでの道のりで、会話したダニエルさんは、なんと剣道を大学の時からやっていたそうで、とても話がはずみ、楽しかったです。大変なこともたくさんあるけれど、こうして話すことの喜びを改めて感じて、もっともっと英語を頑張ろうと思いました。

・仁王門の説明を紙を見ないで言えて、しかも ALT の先生方が大きくなずいてくれた時はとてもうれしかったです。善光寺ガイドをする前は本当に無理！やだー！と思っていたけど、実際は本当に楽しくて、

とても充実したなと思いました。今回の「たくさん話せた！！」という感動を忘れずにまた、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。

・ALT の先生に「間違えても気にせず、とにかく伝えようとするのが大切。だから恥ずかしながら頑張ってください！！」と言われたので、この言葉を大切に頑張っていきたいです。

・仁王門の所では「あ」「うん」の説明を質問を交えながら説明し、「わかった！」みたいにうなずきながら聴いてくれたので、伝わっているのかなと思います、うれしかったです。

・アメリカ人の ALT の先生方は、神社とお寺にとっても興味があったようだが、その違いについてはあまりよくわかっていなかったようで、僕はそれ（例えばお祈りの仕方の違い）をしっかりと説明したかったけれど、「祈る」という動詞がどうしても出てこなく、「(お寺の場合) 祈る時は、手をたたかないで下さい」という日本語でなら当たり前と言える文も言えず、ジェスチャーで何とかするしかなかった。しかし、それでも初めてのガイドとしては上手にこなすことができ、無事案内して、県庁まで戻ってくることができた。

